

## 自治基本条例の制定

自治基本条例の制定に向け、調査研究及び検討協議を行う「庁内検討会議」を設置しました。この検討会議は、課長職等で構成する本部会と、係長職以下の職員で構成する作業部会に分けています。また、平成24年度の取組として、町議会や公共的団体並びに公募により選出された方で構成する「自治基本条例みんなで作る委員会」を設置し、本格的に始動したいと考えています。今後の一つの目標として、本年度中に素案をまとめ、その後、パブリックコメント等を行い、条例の制定を目指していきます。



## 桂川駅周辺整備

桂川駅南側道路の整備については、国道200号からのアクセス道路として既存の町道を拡幅改良し、町道第一豆田1号線までを結ぶ案を検討しています。このことについては、2月に地元説明会を行い、一定の了承をいただきましたので、平成24年度は調査測量に着手します。

## 定住化促進に向けた施策

町営住宅の現在の管理戸数は394戸で、このうち265戸はすでに耐用年数を超えています。平成23年度は「公営住宅等長寿命化計画」を策定しましたが、老朽化した住宅の改善及び円滑な更新等の具体策について早急に検討します。

また、平成23年度から実施している住宅改修助成事業（住宅リホーム助成）の実績は、申請件数25件、対象工事金額約2,600万円、補助金交付額190万円です。住宅リホームを希望される方の後を押し、町内事業者の受注拡大、経済効果をもたらすことができることから、継続して取り組んでいきます。

## 安全・安心まちづくり

防災対策として、行政防災無線の設置について検討を進めています。防災無線の設置は、本町にとって長年の課題でありましたが、財源問題や有効性の確認等のために、これまで着手できませんでした。しかし、平成24年度の国の地方債計画の中で、地方債充当率100%、交付税措置70%という非常に有利な財政措置が講ぜられること、MCA無線の活用により、大幅な経費の削減が期待できることから、早期に積極的に取り組めます。

また、防犯外灯については、平成23年度に通学路や主要な生活道路を中心に、LEDの外灯を170基設置しました。しかし、各行政区からの要望もありませんので、平成24年度についても、引き続き通学路や生活道路等を中心に設置を進めていきます。

